

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 12 巻第 28 号

第 28 週 (7 月 9 日 ~ 7 月 15 日)

発行年月日:平成24年(2012年) 7月18日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ 腸管出血性大腸菌感染症多発警報は発令中

◆ 風しんが急増

★ 一類～五類全数報告感染症の発生状況 (第28週)

- ・一類感染症――報告はありません
- ・二類感染症――結核 4名
- ・三類感染症――腸管出血性大腸菌感染症 7名 (患者 7名)
(血清型・毒素型: O157・VT1+VT2 3名、O145・VT2 1名、O145・VT不明 1名、O157・VT2 2名)
腸管出血性大腸菌感染症の発生状況については、3. その他 (2)に示すとおりです。
- ・四類感染症――レジオネラ症 1名 (病型:肺炎型、年齢:60歳代)
- ・五類感染症――風しん 5名 (男性 4名、女性 1名、病型:検査診断例 4名、臨床診断例 1名)
(年齢:20歳代 1名、30歳代 3名、40歳代 1名)

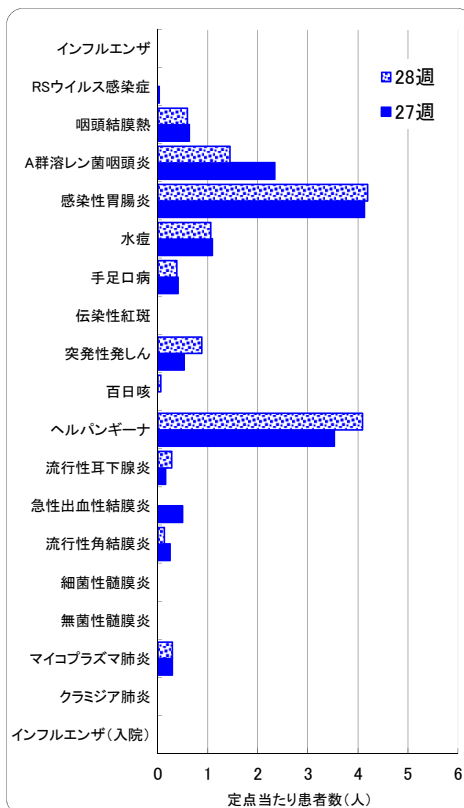
★ 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況 (先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(419名)と横ばいで、今週は418名となっています。今週、増加した疾患は感染性胃腸炎、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナおよび流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)で、特に感染性胃腸炎は大津市および長浜保健所管内で急増しています。その他の疾患については、減少または横ばいとなっています(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

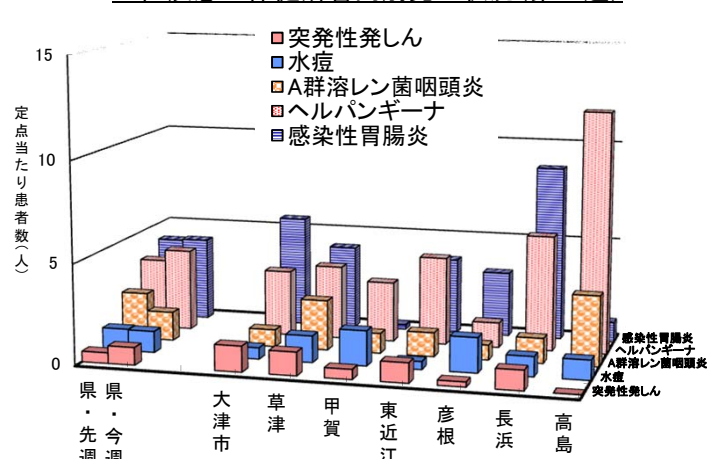
また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警 報――咽頭結膜熱(プール熱) (警報開始基準値 3.00、警報終息基準値 1.00) 高島保健所管内
ヘルパンギーナ (警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00) 長浜および高島保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況 (第28週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②ヘルパンギーナ、③A群溶レン菌咽頭炎、④水痘、⑤突発性発しんの順に多くなっています。

- 感染性胃腸炎――草津では先週より半減していますが、大津市および長浜では先週の約1.5～2.5倍増となっています。
- ヘルパンギーナ――県全体では先週よりさらに増加し、長浜および高島では先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を超えています。
- A群溶レン菌咽頭炎――彦根および長浜以外で先週より減少していますが、草津および高島でやや多くなっています。
- 水痘――東近江では先週より減少していますが、甲賀および彦根では大幅に増加しています。

1. 全数報告感染症（一類～五類）の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^(※1)		平成22年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (28週)	全 国 ^(※3) (27週注)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	143	14,882	338	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	2	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	109	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	23	1,022	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	10	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	72	0	61	0	66
	A型肝炎	1	106	0	176	3	347
	オウム病	0	5	0	13	1	11
	つつが虫病	1	184	1	461	2	407
	デング熱	0	71	1	104	2	244
	マラリア	2	37	0	78	0	73
	レジオネラ症	3	407	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	7	435	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	0	115	1	249	3	221
	急性脳炎	3	221	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	94	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	145	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	4	703	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	29	1	68	1	77
	梅毒	0	426	6	827	9	621
	破傷風	0	48	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	46	0	73	2	120
	風しん	10	594	2	374	5	87
	麻しん	2	182	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：28週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

※1：感染症発生動向調査事業年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在）。

※2：感染症発生動向調査事業年報確定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月）。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
 （患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）

(1) 疾病別・週別発生状況（平成24年第23週～28週、6/4～7/15）

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数（↑前週より増加 →前週と同じ ↓前週より減少）						週				
			23週	24週	25週	26週	27週	28週					
			6/4～	6/11～	6/18～	6/25～	7/2～	7/9～	24	25	26	27	28
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.09	0.11	0.04	0	0	0	↑	↓	↓	→	→
小児科	32	RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0.03	0	↓	→	→	↑	↓
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.41	0.38	0.44	0.53	0.63	0.59	↓	↑	↑	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.78	3.09	2.03	2.16	2.34	1.44	↑	↓	↑	↑	↓
		感染性胃腸炎	8.81	9.28	6.63	6.97	4.13	4.19	↑	↓	↑	↓	↑
		水痘	1.16	1.50	1.28	1.03	1.09	1.06	↑	↓	↓	↑	↓
		手足口病	0.31	0.28	0.13	0.19	0.41	0.38	↓	↓	↑	↑	↓
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0	0	0.03	0	0	0	→	↑	↓	→	→
		突発性発しん	0.47	0.59	0.91	1.00	0.53	0.88	↑	↑	↑	↓	↑
		百日咳	0	0.06	0.13	0.03	0	0.06	↑	↑	↓	↓	↑
		ヘルパンギーナ	0.69	0.41	1.66	3.16	3.53	4.09	↓	↑	↑	↑	↑
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.22	0.19	0.38	0.13	0.16	0.28	↓	↑	↓	↑	↑
眼科	8	急性出血性結膜炎	0.25	0	0.13	0	0.50	0	↓	↑	↓	↑	↓
		流行性角結膜炎	1.25	0.63	0.13	0.63	0.25	0.13	↓	↓	↑	↓	↓
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.43	0.71	0.43	0.14	0.29	0.29	↑	↓	↓	↑	→
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ（入院）*	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

※：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり患者数）を掲載

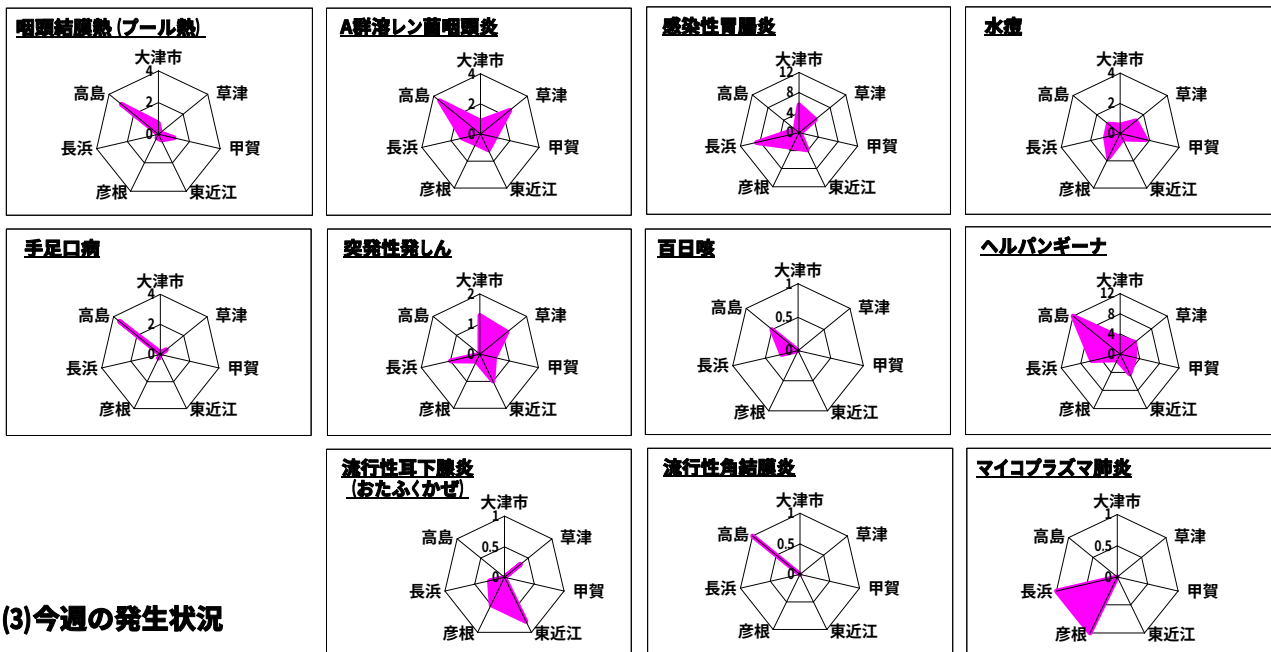
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第28週、7/9～7/15)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)		
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.20	0	0	0			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.59	0.71	0.17	1.00	0.40	0.25	0	3.00			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	0.86	2.50	1.00	1.20	0.75	1.25	3.50			
感染性胃腸炎	4.19	5.57	4.17	0.25	3.80	3.25	8.75	1.00			
水痘	1.06	0.57	1.33	1.75	0.40	1.75	1.00	1.00			
手足口病	0.38	0.14	0.50	0	0	0.25	0	3.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0			
突発性発しん	0.88	1.29	1.17	0.50	1.00	0.25	1.00	0			
百日咳	0.06	0	0	0	0	0	0.25	0.50			
ヘルパンギーナ	4.09	3.29	3.67	3.00	4.40	1.25	5.75	12.00			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.28	0	0.33	0	0.80	0.50	0.25	0			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	0	1.00			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	1.00	1.00	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0			

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
青緑・太字 は注意発生基準値を超えています。

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

<咽頭結膜熱(プール熱)> 草津および東近江保健所管内では先週より大幅に減少しています。高島保健所管内では先週より急増し、警報開始基準値(定点当たり患者数 3.00)を超えています。
<急性出血性結膜炎> 大津市保健所管内では、先週より減少し、警報終息基準値未満(定点当たり患者数 0.01)となっています。

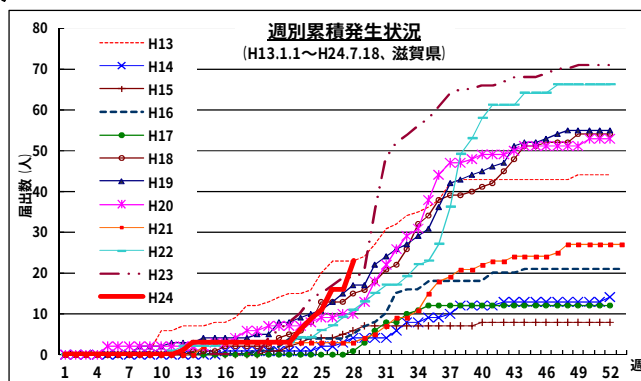
3. その他

(1)症候群サーベイランスにおける疑似症定点からの報告

[トップページに戻る](#)

第28週に大津市保健所管内の疑似症定点から、「発熱及び発しん又は水痘」で3件が報告されています。性別は男性 2名、女性 1名で、年齢は4～5歳 3名です。

(2)腸管出血性大腸菌感染症の発生状況



平成24年7月18日現在の届出数は 23名 で、男性 16名、女性 7名です。診断の類型は患者 18名、無症状病原体保有者 5名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1&VT2 10名 O157・VT2 4名
O145・VT2 2名 O145・VT不明 1名
O26・VT1 6名です。

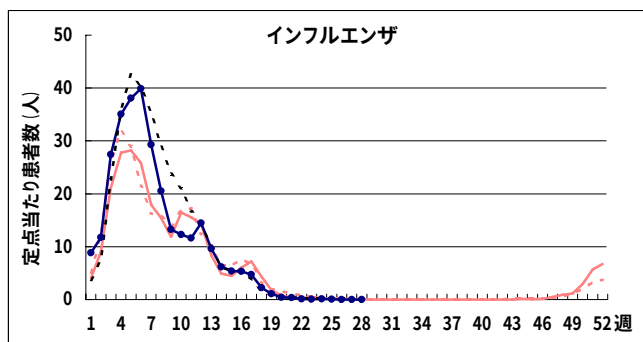
年齢は

0～9歳 10名、10～19歳 1名、20～29歳 3名
30～39歳 2名、40～49歳 1名、50～59歳 4名
60～69歳 1名、70歳以上 1名です。

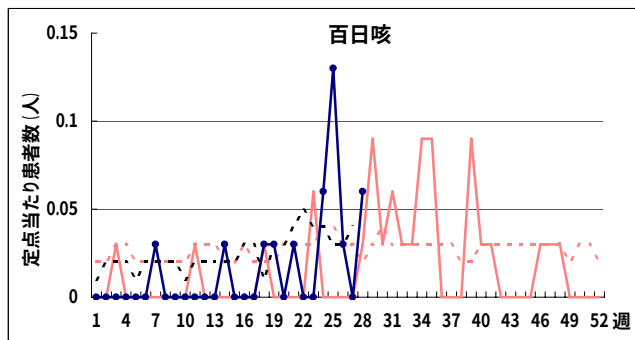
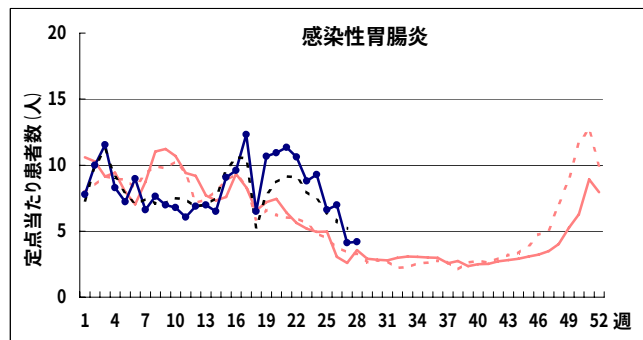
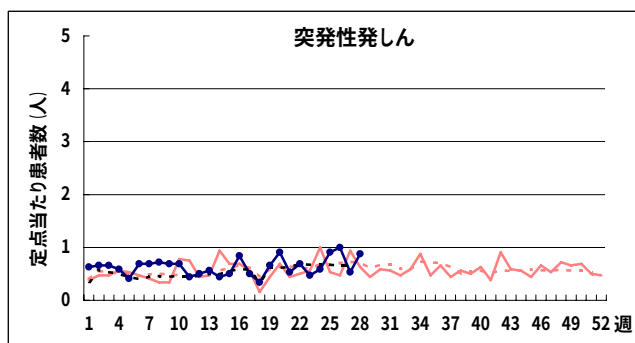
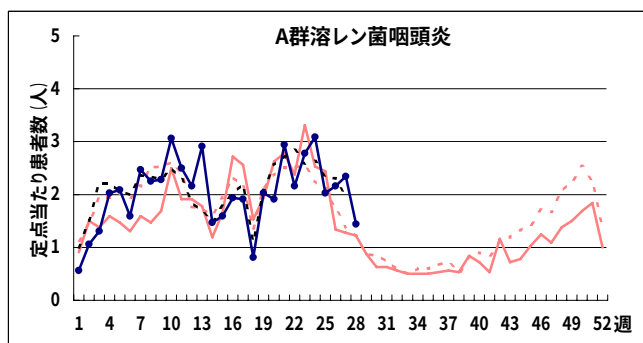
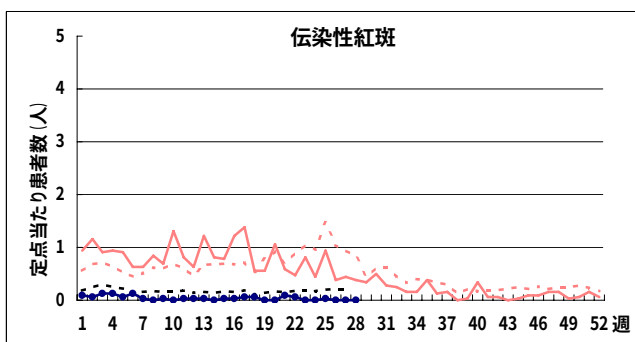
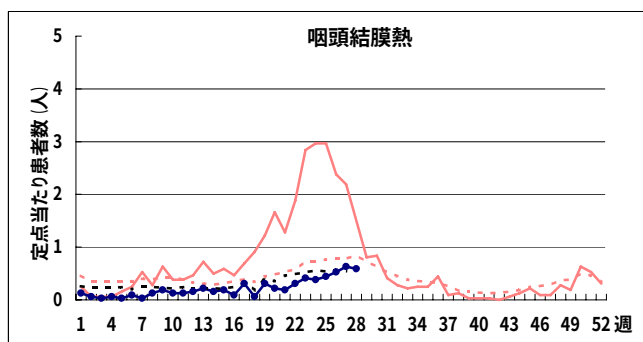
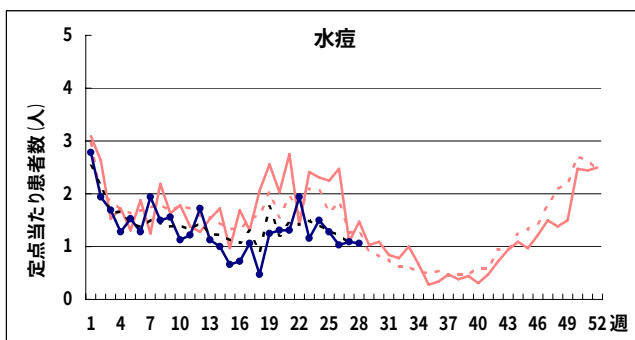
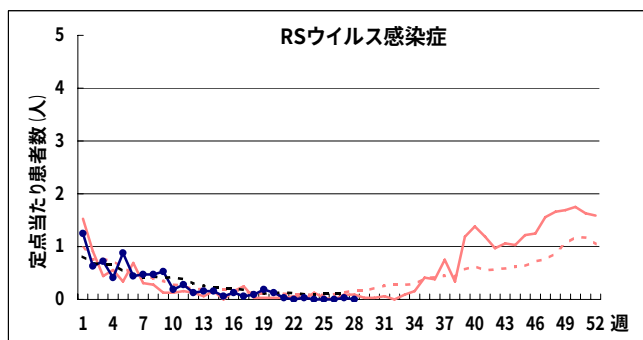
届出保健所管内別は

大津市 5名、草津 10名、東近江 6名、彦根 2名です。

疾病別定点当たり患者数 (平成24年第 28 週、H24.1.2～H24.7.15)



H23 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)
H24 { 滋賀 (solid blue line)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第28週、H24.1.2～H24.7.15)

H23 〔 滋賀 全国 〕 H24 〔 滋賀 全国 〕

